

# 令和 4 年度「自律した英語学習者育成プロジェクト事業」 報 告 書

## 1 令和 3 年度入学生の指導に係る全体計画 Plan

※ CAN-DOリストを踏まえ、3年間を見据えた生徒に身に付けさせたい力とその力を育成するための指導計画を4技能の観点から記述する。

技能	1年	2年	3年
Reading	<p>(力) ①基本的な構文を含む文章を、段落毎に内容を理解し、全体の概要もとらえることができる。</p> <p>②80語/分で読むことができる。</p> <p>③音声に注意しながら、内容が聞き手に伝わるように自然な音読をすることができる。</p> <p>(指導計画) 本文の概要や要点を捉えることができるよう指導する。</p>	<p>(力) ①ある程度複雑な構文を含む文章を、段落毎に内容を理解し、全体の概要もとらえることができる。</p> <p>②100語/分で読むことができる。</p> <p>③内容をほぼ理解し、音声に注意しながら聞き手に伝わるように音読できる。</p> <p>(指導計画) 本文の概要や要点を捉えながら、必要な情報を読み取ることができるよう指導する。</p>	<p>(力) ①複雑な構文を含む文章を、段落毎に内容を理解し、全体の概要や段落間のつながりもとらえることができる。</p> <p>②110語/分で読むことができる。</p> <p>③内容を十分に理解し音声に注意しながら聞き手に伝わるように音読できる。</p> <p>(指導計画) 複雑な構文を含む文章を読んで理解し、必要な情報を時間内で読み取ることができるよう指導する。</p>
Listening	<p>(力) ①英語による講義などが、易しい言葉で繰り返しゆっくりと説明されれば理解することができる。</p> <p>②繰り返し聞いて、おおよその内容が理解できる。</p> <p>③80～100語/分レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(指導計画) 教科書本文を繰り返し聞き取り、ペアで内容理解を図りながら、本文に関するT/F問題に答えられるよう指導する。</p>	<p>(力) ①外国文化や生活の紹介などを自然なスピードで理解できる。</p> <p>②セカンドリスニングまででおおよその内容が理解できる。</p> <p>③100～120語/分レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(指導計画) 教科書本文を聞き取り、セカンドリスニングまでに本文に関するT/F問題に答えられるよう指導する。</p>	<p>(力) ①講演・講義などの自然なスピードで話す説明や、質問文を理解できる。</p> <p>②セカンドリスニングまでで内容が理解できる。</p> <p>③120～140語/分レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(指導計画) 教科書本文を聞き取り、セカンドリスニングまでに本文詳細に関する問題に答えられるよう指導する。</p>
Speaking	<p>(力) ①教科書の概要を発表することができる。</p> <p>②与えられた話題について50語/分で話すことができる。</p>	<p>(力) ①キーワードの助けがあれば教科書の内容をなんとか要約し、発表することができる。</p> <p>②与えられた話題について60語/分で話すことができる。</p>	<p>(力) ①教科書の内容を要約し、発表することができる。</p> <p>②与えられた話題について70語/分で話すことができる。</p>

	<p>③自分自身のことやなじみのある話題について英語で短いやりとりができる。 (指導計画)</p> <p>・教科書本文に関して自分の考えや感想を書いたり、本文を要約したりする活動を行う。</p>	<p>③なじみのある話題について、英語で話すことができる。 (指導計画)</p> <p>・教科書にでてくる表現／文法事項を音読する活動を通し、インテイクを促す。 ・音読でインテイクした教科書内容をリテリングさせる。</p>	<p>③社会的な話題について、英語で議論することができる。 (指導計画)</p> <p>・教科書本文の内容についてまとめた上で、自分の考えを意見とともに話して伝えることができるよう指導する。</p>
Writing	<p>(力) ①教科書の内容について、本文やキーワードを使って比較的短い要約を書くことができる。</p> <p>②与えられた話題について、20分間に50～100語のまとまりのある英文を書くことができる。</p> <p>③自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。 (指導計画) 教科書本文に関して自分の考えや感想を書いたり、本文を要約したりする活動を行う。</p>	<p>(力) ①教科書の内容について、主題文や指示文をつないで要約を書くことができる。</p> <p>②与えられた話題について、20分間に100～150語のまとまりのある英文を書くことができる。</p> <p>③自分の意見や感想、出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。 (指導計画) 1年時の指導を継続的に続けた上で、英検準2級及び2級ライティングの問題などに取り組み、自分の考えを理由とともに書く活動を繰り返し行う。</p>	<p>(力) ①教科書の内容について、簡単なコメントを付け加えた要約を書くことができる。</p> <p>②与えられた話題について、20分間に150語以上のまとまりのある英文を書くことができる。</p> <p>③自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。 (指導計画) 2年時の指導を継続的に続けた上で、ディスコースマーカーの使い方を示し、段落構成を意識した英文が書けるよう指導する。</p>

2 試験結果を踏まえた（１）現状分析、（２）重点課題、（３）重点課題の克服に向けた実践（指導と評価の工夫） Do

※（３）実践については、各年次３月までの実践とし、民間試験受検前後の変化等がわかるように具体的に記述する。

※ パフォーマンステストの実施についても、実施内容や回数等を記述する。

技能	（１）現状分析	（２）重点課題
	（３）①実践（指導の工夫）	（３）②実践（評価の工夫）
Reading	（１）令和３年度に実施したテストと同様に、リーディングの平均点は英検準２級レベル相当をわずかに上回っている。しかし前回テストと比較すると、準２級後半～２級相当の４６１点～５４０点の生徒が５０人減という結果になった。	（２）「語彙・熟語・文法」分野の得点率が５０％を切っており、他技能と比較しても最も低い得点率となっている。今後はより一層、「語彙・熟語・文法」の指導が求められる。
	（３）① ・授業の帯活動に単語帳の音声や意味を確認し、継続的な語彙指導を行った ・時間制限を設けた上でリーディング活動を行い、速読を意識させた。	（３）② ・単語テストを週に１～２回実施した。 ・共通テストを意識し、情報検索・概要把握問題を解きながら、教科書本文を読み進めた。 ・考査では、教科書本文を一部パラフレーズし、初見の文から読み解く機会を増やした。
Listening	（１）リーディング同様、リスニングの平均点は準２級相当をわずかに上回るが、CEFRではA1相当とリーディングに比べ低い。他技能と比較すると、スコアレンジが広いのが特徴である。	（２）スコアレンジが広く、リスニングを苦手とする生徒の底上げが重要となるだろう。学年全体としてリスニングスキルを向上させることが課題である。
	（３）① ・パートごとにリスニングを実施し、大意や詳細を把握させてから、本文を読む段階的な指導を行った。 ・Classroom Englishを活用し、英語の音声に慣れ親しむ工夫をした。	（３）② ・パートごとに実施しているリスニングでは、本文の概要をまとめた穴埋め問題や本文詳細に関するT/F問題に答えることで、生徒が自己評価できるようにした。
Speaking	（１）L&Rと異なり、平均点が英検準２級相当を８点下回る結果であった。３級相当から準２級合格相当の受験者が約７５％を占めており、スコアレンジが狭い。また２級相当が１人しかおらず、他技能と比べると上位層が少ない。	（２）技能・分野別平均得点率を見ると、Q&Aの得点率が低い。パッセージを音読する問題の得点率は６９．９点と高いが、聞かれた問を正しく理解し、適切に答える力に課題が見られる。
	（３）① ・教科書本文の音読活動及び要約の穴埋めを行ったあと、ペアでリテリングをした。 ・ワードカウントを用いてリテリングを行い、生徒自身が目標を具体的に設定したり、達成度を振り返ったりできるよう工夫した。	（３）② ・ワードカウンターや、ループリックを使い、ペアでリテリングの相互評価を行った。 ・本文で学んだ情報を、自身の考えや体験談と共に伝えるパフォーマンステストを１度実施した。
Writing	（１）リーディングと同じく、平均点は準２級相当をやや上回り、CEFRレベルはA2である。構成、内容、語彙、文法の順で平均得点率が低くなる。	（２）リーディング分野の結果と同じく、語彙及び文法が課題となっている。リーディングと並行した技能統合的な指導が課題となる。
	（３）① ・与えられた話題に関して自分の意見を書き、教科書の内容をまとめるライティング活動を行った。	（３）②英語表現Ⅱのテストで、英作文が出題されている。一方、まとまりのある文に関しては、ALT及び担当教員が添削を行っているが、成績評価には加味されていない。

	・生徒の中で優れたライティングを取り出し、クラスで共有している。全員でライティングを振り返ることで、語彙や表現の幅を増やしている。	
--	---	--

### 3 実践の検証 Check 及び改善案 Act

- ※ 検証については、各年次3月までの実践について、全体計画及びCAN-DOリストを踏まえながら行い、検証の結果（評価）を記述する
- ※ 改善案については、次年次以降の指導と評価に向けて、全体計画、CAN-DOリスト、これまでの実践、検証を踏まえて記述する。

問題の回答を確認した後に、再度音声を聞くなど、リスニングの振り返りまで行うことができなかった。今後は、英語特有の音声を理解したり、音読を通して音声と文字を一致させたりする活動まで発展させたい。また

技能	実践の検証	改善案
Reading	①70ワード前後のパラグラフを1分間で黙読し、ペアに日本語で説明する時間をパート毎に設けた。授業アンケートでは「黙読時間を長くしてほしい」という要望があるなど、70ワード/分でのリーディングに困難を感じる生徒がいる実態がわかった。	①リーディングやリスニング前に新出単語を確認する時間を設けているが、単語の確認だけでは、70ワード/分の読了が困難であることがわかった。ファーストリーディング後に、複雑な文法の解説を行っていたが、ファーストリーディング前に解説を設けるなどの支援を検討したい。
	②単語テスト1週目では、得点率が75%以上の生徒が114人/200人だった。単語テスト2週目では、客観だけでなく記述問題も含めたが、全クラスにおいて平均得点率が80%を超えた。継続的な指導により、語彙力が向上した。	②テストが、単語の意味を理解しているか、あるいは書き取りができるかを評価するにとどまってしまう。今後は、英作文や長文などを用いて、単語の運用能力や読解力と併せた評価を行いたい。
Listening	①平易な問題文であれば、聞いた英語を理解したり推測したりすることで、本文に関するT/F問題に答えられる生徒が大半である。一方、詳細に関する内容を書き取る問題では、困難を示している生徒が多い。	①本文を聞き詳細を書き取る問題では、1人で活動できない生徒が多かった。書き取らせる問題では、そのため、複数回リスニングを行ったり、リスニング前にペアで内容を確認したりする時間を設けた。
	②プリントを活用し、聞こえる語句から本文の大意を把握させることで、CAN-DO リストListening②の目標（セカンドリスニングまででおおよその内容を理解できる）の達成を目指した。	②授業毎において、生徒のリスニングの理解度を測るのが困難だった。ICTを活用し、生徒の理解度を把握しながら授業を進める工夫をしたい。
Speaking	①教科書内容を要約しペアでリテリングする活動を、1つの題材でペアを変えながら繰り返し行なった。リテリングではワードカウンターを活用した結果、各パートの初回リテリング平均は47ワード/分、最高ワードの平均数は60ワード/分となり、初回リテリングから回数を重ねるにつれ、ワード数を増やすことができた。	①ワードカウンターではカウント数（Fluency）にのみ注意が向いてしまい、Accuracyについて評価ができなかった。ライティングを活用し、表現する内容や文法の正確さに対してもフィードバックを行いたい。

	②リテリングを行う際、単語数 (fluency) だけでなく、伝える内容にも重きを置いて話すために、ルーブリックを配布し、生徒に相互評価をさせた。	②相互評価をする際、聞き手の生徒の負担が大きかった。相互評価のルーブリックは、評価としてではなく、生徒自身が自己の目標設定や振り返りとして用いるのが妥当であると感じた。
Writing	①各パート読解後、本文を要約する活動を行った。Part1からPart4まで継続した結果、単語数が58語→70語、中央値が52語→70語、と回数を重ねるごとに、表現できる内容が増えた。要約は授業内の10分間で行ったため、CAN-DOのWriting②100語～150語/20分のゴールを達成できた生徒が多かったといえるだろう。	①20分間に100語～150語の英文を書くことができた生徒が多かった一方、書いた英文にまとまりがない場合も見られた。ディスコースマーカを活用しながら本文の流れを意識した要約ができた生徒もいたが、本文を箇条書きでまとめるにとどまる生徒もいた。今後はまとまりのある英文を書くために、英文の構成について指導していく必要がある。
	②本文中の重要なキーワードを与えられた場合、教科書本文を要約することができた。CAN-DOのWriting目標①を達成することができた。	②ALTや教員が文法の添削を行っていたが、フィードバック後の自己訂正にまで繋げることができなかった。またグローバルエラーの多い文章については添削ができなかった。今後は、添削後の効果的なライティング指導についての検討が必要だろう。